

群馬県警生活安全部長から感謝状を拝受

～警察と連携した各種防犯の取り組みを評価～

日本損害保険協会関東支部 群馬損保会(会長:遠藤 英嗣・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社群馬支店長)では、日頃より県内の安全安心な街づくりに資する取り組みとして、防犯活動に取り組んでいますが、今般、こうした取り組みにより警察の業務運営に貢献をしたとして、群馬県警察本部生活安全部長から感謝状が授与されました。

群馬県内では、2022年6月、2023年8月の相次ぐ降ひょうにより、住宅や車等に多くの被害があり、災害に便乗した業者による悪質な住宅修理の勧誘が問題となっていました。そこで、群馬損保会では、群馬県や県警と連携し、こうした業者に対する啓発チラシを作成し注意喚起を行っています。

また、最近では北関東を中心に、太陽光発電施設の銅線ケーブル等の金属盗難が急増しており、群馬県内でも、2023年10月時点の盗難被害件数が前年比で約9倍の約850件となっています。こうした状況を踏まえ、群馬損保会では群馬県警と連携して、太陽光発電施設の銅線ケーブル盗難を注意喚起するチラシを作成のうえデータで提供し、発電所オーナー等に注意を呼び掛きました。

本件は、これらの取り組みが評価され、感謝状が授与される運びとなったものです。

2月20日(火)前橋市内のホテルにおいて感謝状の授与が行われ、群馬県警生活安全部の新井参事官兼生活安全企画課長から遠藤会長に感謝状が手渡されました。新井生活安全企画課長からは、「防犯対策については、官民が力を合わせて粘り強く取り組んでいくことが必要であることから、群馬損保会の協力は大変心強く感謝している。」とのコメントがあり、これに対し遠藤損保会長からは、「今後も県内の安全安心のために警察と連携しながら頑張って参りたい。」旨を伝えました。

群馬損保会では、今後も警察や行政と連携し、安全安心な街づくりに向けた取り組みを継続して行ってまいります。



感謝状拝受の様子



(左) 新井生活安全企画課長 (右) 遠藤損保会長

群馬県のみならず
台風、水害、地震、大雪など
相次ぐ自然災害で
住宅修理トラブル多発中!!

以下のような説明をうけずに、必要のない訪問勧誘は断りましょう!

保険金請求手続きは
遅いので
代行しますよ。

まずご記入いただいた保険会社や保険内容をご確認ください。書類も揃っていますか。書類が揃っていない場合は、保険会社に書類を提出してください。

保険金が使えて
良いので
代行しますよ。

実際に見られた保険金の額や修理費を算出してください。保険金では修理できないケースが多発しています。

保険会社も自然災害の
発生によって保険金請求
が殺到しています。

保険会社に電話のかけ増えで、ご記入の書類の受付が遅くなっている可能性があります。

引渡前 (住宅修理の)

保険申請レポート等の提出

2023年10月1日現在、群馬県では、保険申請レポート等の提出が義務付けられています。保険申請レポートを提出しないと、保険金の支払いが滞ります。

引渡後 (住宅修理の)

多発する自然災害による被害

台風や大雪による被害は、屋根や壁面など、目に見えない部分の被害も発生しています。また、水害による被害は、基礎や土壌の被害も発生しています。被害の範囲を広く見逃さないようにしてください。

あれ??と思ったら、契約前にご加入の保険会社、代理店や消費生活センターなどへご相談ください。

0120-309-444

24時間受付

0570-022808

24時間受付

日本損害保険協会の協賛企業 群馬県協会の協賛企業 協賛企業

群馬県で **CAUTION!!**

太陽光発電施設の
ケーブル盗難が多発中

太陽光発電施設から発生するケーブル盗難被害は、被害額が大きいとされています。被害者、関係者は、被害防止対策を講じてください。

盗難を防止するための対策

設備面での対策

- ケーブルは管に収める
- 防風対策としてワイヤーの設置
- 防犯カメラや防犯ライトの設置
- 防犯センサーや防犯ブザーの設置
- 防犯照明の導入

運営面での対策

- こまめな巡回
- 巡回時に盗難の発生を早期に発見
- 巡回時に盗難の発生を早期に発見
- 巡回時に盗難の発生を早期に発見

不審な人物・車両を見かけたらすぐに**110番通報**を!!

群馬県警察 一般社団法人日本損害保険協会関東支部群馬県協会

群馬県版住宅修理業者注意喚起チラシ

太陽光発電施設ケーブル盗難注意喚起チラシ